

紀の川水質汚濁防止連絡協議会
資料配布

配布	平成18年9月4日(月) 16時45分
----	------------------------

件名	大滝ダム貯水池内の重機浸水による 油流出事故について～続報(終報)～
----	---------------------------------------

概要	大滝ダム上流4.0km付近(白屋地区)での、地すべり対策工事中の重機の浸水による油流出についての続報(終報)
----	--

取り扱い	—————
------	-------

配布場所	奈良県政クラブ 五條市政記者クラブ
------	----------------------

問合せ先	紀の川水質汚濁防止連絡協議会 国土交通省近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所 管理課長 田村 友秀 工務課長 早田 順英 電話 : 0747-25-3013
------	---

## 大滝ダム貯水池内の重機浸水による 油流出事故について～続報（終報）～

9月1日10時00分頃発生しました、大滝ダム上流4.0km付近（白屋地区）大滝ダム貯水池上流の白屋地区における、地すべり対策工事中重機の浸水による油流出事故について、2日に重機の移動及び機器の回収作業完了しましたが、その後も監視をつづけてきました。

監視の結果、本日時点でも、浸水現場下流1km、並びに、ダム下流に設置したオイルフェンスへの油の流出はみられませんでした。（最終14時30分確認。）

また、ダム貯水池内及び高見川合流付近まで巡視を行いました。油の流出はみられませんでした。（最終14時30分確認。）

以上から、重機浸水における油流出による下流への影響はないと判断いたします。

### 油流出事故経緯

9月1日

10時00分頃発生しました、大滝ダム上流4.0km付近（白屋地区）大滝ダム貯水池上流の白屋地区における、地すべり対策工事中重機の浸水による油流出事故発生（クローラクレーン3台水浸、発動発電機1台、溶接機1台が流出）

11:30 工事現場から下流約1kmの工事用シルトフェンス（2重）に、水没した機械からと思われる油分が漂着しているのを確認。

13:30 工事用シルトフェンス上流にオイルフェンスを張り、油回収のため、吸着マットを投入。

作業は作業員の安全確保のため17時に終了し、明日朝、作業を再開。

以上[既報 9月1日]

9月2日

6時00分より重機の移動、機器の回収作業及び吸着マットによる油回収作業を再開。

浸水していたクローラクレーン 3 台の移動と流出していた発動発電機 1 台、溶接機 1 台の回収を 10 時 25 分に完了。

回収した発動発電機 1 台、溶接機 1 台に残っていた軽油等の残量より、推定で 9.2t の軽油等が流出した見込み。(機器表面に付着した油脂類含む)

浸水現場下流約 1km に設置したオイルフェンスに付着した油分については、吸着マットにより 17 時に回収が完了。

オイルフェンス下流 1km 付近(ダム上流 2km 付近)で約幅 6m × 長さ 20m 及び約幅 2m × 長さ 30m の範囲で 2 箇所、油が浮いているのを確認しましたが、吸着マットにより 17 時に回収を完了しました。

念のため、ダム直下流にオイルフェンスを設置

引き続き監視体制

以上[既報 9月2日]

9月3日

貯水池内ダム貯水池内及び高見川合流付近まで巡視を実施

浸水現場下流約 1km に設置したオイルフェンスに油の付着が確認されたため、吸着マットによる油の回収を実施

ダム直下流に設置したオイルフェンスには油の付着は見られず。

13時00分より浸水現場、ダム直下で油の付着は見られなかった。

引き続き監視体制

9月4日

貯水池内ダム貯水池内及び高見川合流付近まで巡視を実施

浸水現場下流約 1km に設置したオイルフェンスに油の付着はみられませんでした。(最終 14 時 30 分確認。)

ダム直下流に設置したオイルフェンスには油の付着はみられませんでした。

(最終 14 時 30 分確認。)

以上から、重機浸水における油流出による下流への影響はないと判断いたします。